

よきおとずれ

カトリック釧路教会だより

第 29 号 聖母被昇天の祭日（2025 年 8 月 15 日）



平和の^{きさき}元后・聖マリア―戦後 80 年を迎えて・・・

ヨアキム 川上 剛 神父

8 月 15 日は聖母の被昇天の祭日、日本では終戦の日でもあります。日本司教団はメッセージを出しています。特に「核兵器廃絶宣言」は初めてですが、お読みになることをお勧めします（カトリック中央協議会 <https://www.cbcj.catholic.jp/2025/06/20/32794/>）。

ところで、83 年前の 8 月、私は南樺太（サハリン）で生まれました。幼少の頃のことはほとんど覚えていませんが、1945 年 8 月（昭和 20 年）、日本の敗戦と同時にソ連軍が侵攻し、南樺太は占領されました。私はひもじい思いや苦勞をした記憶はありません。すべて父母が背負ってくれたと言っていいでしょう。また、祖母が当時一緒に何かと私のわがまを聞いてくれたのではと感じていますが。家族は 1949（昭和 24）年の第 4 次引揚げで函館に着き、検疫など手続き後に留萌に移住しました。

戦後 80 年の今年、カトリック教会の平和旬間（8 月 6 日～15 日）に際し、改めて私が今ここに「在る」ことがいかに多くの人の命を懸けた支え、助けがあったかを改めて思い起こしています。それは、引揚げ時の命がけの日々と機銃掃射の体験です。先の大戦を経験した人々は年々少なくなっている折、戦争の犠牲になられた多くの方々、そして様々な形で巻き込まれていのちを奪われ、傷を負われた方のことを思うと本当に胸が痛みます。かつて私たちの国がアジアの隣国の人たちに植民地支配と忠君愛国の抑圧の中で犠牲を強いた人々に心からゆるしを願わざるをえません。

「平和の元后・聖マリア」は聖母の連祷の中に組み入れられていますが、1942 年第二次世界大戦の折には戦争で傷つき、荒廃した全世界と全人類をマリアの汚けがれなきみ心にささげると教会は宣言されました。人間の力では全世界に平和をもたらすのは決して出来ることではありません。すでに第三次世界大戦がはじまっていると言われるこの時、わたしたちの平和への小さな祈り、マリアさまへ平和を願う祈りを通じて、神さまからキリストの平和がもたらされると私たちは心から確信していきたいと念じつつ・・・

“平和の元后、われらのために祈り給え”

ライフラインコンサート

アシジのフランシスコ 小川 晴清

釧路教会の聖堂で6月10日火曜日に福音歌手森祐理さんによるライフラインコンサートが開催されました。神父様はじめ、信徒と多数のお客さまが聴きに來られました。

私は日曜日のミサのマルコやルカによる福音を森さんがどのように歌うのか、興味と楽しみにコンサートを聴きに行きました。プロフィールが紹介され、森さんはNHKテレビの歌のお姉さん「愉快的コンサート」に出演されていました。また、阪神淡路大震災で弟さんを亡くされ、その悲しい体験を通し、福音歌手になって国内外の被災地にて、心の救援物資を届け、コンサートも行っています。



今回のコンサートの前にもトルコでの聖地巡礼ツアーで帰国の時に同じツアー客の人が忘れ物をしたと言った時に森さんが、神様に忘れ物が必ず届けられますようにとお願いすると奇跡が起こり、帰り際に忘れ物が届けられたそうです。

歌が始まり、福音の歌が歌われましたが、声も透き通った美しい歌声で素敵でした。歌詞の内容も神を讃え、敬い、キリストと共にいて、助けを求める内容でした。会場で皆が聴いている様子

は、私を含めて、キリストの愛を受けて、感謝に満ちた顔で幸せに包まれた顔になっていて、感激しました。

森さんと会場の人との握手やハグとか肩を抱きしめ、触れる姿が聖堂で行われているせいかキリストとマリア様から愛され、祝福してくださっているようにも感じました。

また、作詞、作曲もしているとのこと、これからも国内外でキリストを信じる人もそうでない人にもコンサートを通してキリストの愛と幸せを与えて下さるように祈っています。



帯広教会巡礼

モニカ 越田 こずえ

6月7日（土）、釧路教会から帯広教会への巡礼に11名が参加しました。実りある巡礼となりますようにと、お祈りをして、道東道を利用し予定より15分ほど遅れて到着。帯広教会の皆さんと祭服姿の加藤神父様が笑顔で出迎えてくださいました。早々に明るい聖堂でミサに与り、その後、加藤神父様のお話を聞きました。ヨベルの年の話や免償の始まり、ゆるしの秘蹟を受けることなど、興味深いお話が次々と。そして「聖年



をするきっかけを掴みましょう。とにかく、思い立ったらまずやってみましょう。歳をとっても出来ることはたくさんありますよ（笑）。そこには必ず神様の働きがあるはずですよ」と、力強い御言葉をいただきました。

ちなみに神父様は2000年の大聖年の時、何かしようと思い立ち、釧路から厚岸教会まで48kmを歩いたそうです。

帯広教会で温かいおもてなしをいただき、お腹も心も満腹になって、十勝らしい広大な畑の景色を眺めながら感謝のうちに無事に釧路に到着。

さて、教会の中で聖年をきっかけに何かできることはないか？きっかけを見つけれられますように。



巡礼はバスにゆられて帯広へ声を合わせて祈り唱える
トンネルを三つ越えきて十勝野は平野も山も濃緑重なる
帯広教会玄関に立つ神父様変わらぬ笑顔に迎えるよ
エリザベト 鈴木みよ子



感謝

モニカ 田口 久美子



釧路教会に在籍させていただいていることに感謝申し上げます。
イエス・キリストの名によって集められた信者の皆様方と共に、
生きながらえさせていただき、日々、霊的喜びを見つけ、味わい、
感じ、最後までキリストと共に歩いて行けますようにと願っている
ものです。

よろしくお願いいたします。



受洗 おめでとうございます

6月29日にアシジのフランシスコ グエン・ミンちゃんが洗礼を受けられました。
どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

「ただひとりあゆむ 日々のこみち サンタマリアあなたと ともに歩む」、これは子どもとともに捧げるミサの聖歌の一部です。

今も終わりが見えない戦争で犠牲になった子どもたち、貧困や虐待、さまざまな事情で心を痛めている子どもたちが世界に多数います。そんな彼らが苦境の中でも歩いていかなければならない小道に明るい光が差すことを願います。

「ともに歩んでください。サンタマリアよ」、あなたとともに祈ります。(Y.T)

カトリック釧路教会 〒085-0018 釧路市黒金町 12 丁目 10

TEL 0154-22-5823

FAX 0154-22-5832

教会だより 編集：行事・広報部